

2002 年度 工学部デザイン工学科 A コース (デザイン) シラバス

syll mksyltex Ver 1.79 (2003-5-1) by higaki@tu.chiba-u.ac.jp

2002 年度 工学部デザイン工学科 A コース (デザイン) 授業科目一覧表

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TF001001	図学演習	2.0	1 年前期金曜 2 限	永田 喬他	意匠 5
TF002001	デザイン工学セミナー (意匠系)	2.0	2 年前期月曜 2 限	デ工 (意匠系) 各教官	意匠 5
TF002002	デザイン工学セミナー (意匠系)	2.0	1 年後期水曜 1 限	デ工 (意匠系) 各教官	意匠 6
TF003001	デザインと人間	2.0	1 年前期木曜 5 限	デ工 (意匠系) 各教官	意匠 6
TF004001	基礎造形演習	3.0	1 年前期火曜 3 限 1 年前期火曜 4 限前半	瀧 徹他	意匠 7
TF005101	製品デザイン表示論演習 I	3.0	1 年前期月曜 4 限 1 年前期月曜 5 限前半	杉山 和雄他	意匠 7
TF005202	製品デザイン表示論演習 II	3.0	1 年後期木曜 4 限 1 年後期木曜 5 限前半	杉山 和雄他	意匠 8
TF006001	デザインの歴史	2.0	1 年後期火曜 4 限	宮崎 清他	意匠 8
TF007001	基礎人間工学	2.0	1 年後期火曜 5 限	勝浦 哲夫他	意匠 9
TF008001	材料計画論	2.0	1 年後期水曜 3 限	青木 弘行	意匠 9
TF009101	基礎デザイン演習	3.0	1 年後期火曜 2 限後半 1 年後期火曜 3 限	野口 尚孝他	意匠 10
TF010101	デザイン製図	2.0	1 年後期月曜 2 限	杉山 和雄他	意匠 10
TF011001	製品デザイン論 I	2.0	1 年後期水曜 5 限	永田 喬	意匠 10
TF012001	視覚デザイン基礎演習	3.0	1 年後期金曜 4 限後半 1 年後期金曜 5 限	宮崎 紀郎他	意匠 11
TF013001	デザイン文化計画	2.0	2 年前期火曜 2 限	宮崎 清他	意匠 11
TF015001	メディアデザイン論	2.0	2 年前期水曜 2 限	宮崎 紀郎	意匠 12
TF016001	C G 理論	2.0	2 年前期水曜 1 限	玉垣 庸一	意匠 12
TF017001	環境デザイン論	2.0	2 年前期木曜 2 限	清水 忠男	意匠 13
TF021001	環境デザイン製図演習	3.0	2 年前期火曜 4 限後半 2 年前期火曜 5 限	(原 寛道) 他	意匠 13
TF019001	色彩科学	2.0	2 年前期金曜 4 限	日比野 治雄	意匠 14
TF018001	環境デザイン表示論演習	3.0	2 年後期金曜 1 限後半 2 年後期金曜 2 限	佐藤 公信他	意匠 14
TF023001	造形力学論	2.0	2 年前期金曜 5 限	久保 光徳	意匠 15
TF024001	基礎デザイン論 I	2.0	2 年前期金曜 3 限	野口 尚孝	意匠 15
TF025001	基礎製品デザイン演習	4.0	2 年前期水曜 4,5 限	渡邊 誠他	意匠 16
TF026001	製品デザイン論 II	2.0	2 年前期水曜 3 限	釜池 光夫	意匠 16
TF027001	視覚デザイン演習	3.0	2 年前期木曜 4 限後半 2 年前期木曜 5 限	玉垣 庸一他	意匠 17
TF028001	デザイン文化計画演習 I	3.0	2 年後期木曜 1 限後半 2 年後期木曜 2 限	宮崎 清他	意匠 17
TF029001	材料計画演習 I	3.0	2 年後期水曜 1 限後半 2 年後期水曜 2 限	久保 光徳他	意匠 18
TF030001	材料開発計画	2.0	2 年後期月曜 4 限	(菊地 紀洋)	意匠 18
TF031001	基礎デザイン論 II	2.0	2 年後期月曜 1 限	堀田 明博	意匠 19
TF043401	造形デザイン演習・立体	3.0	2 年後期月曜 2 限後半 2 年後期月曜 3 限	瀧 徹他	意匠 19
TF032001	デザインシステム計画 I	2.0	2 年後期火曜 2 限	杉山 和雄他	意匠 20
TF033101	製品デザイン演習 I	3.0	2 年後期火曜 4 限 2 年後期火曜 5 限前半	永田 喬他	意匠 20
TF034001	製品人間工学	2.0	2 年後期月曜 5 限	勝浦 哲夫他	意匠 21
TF035001	デザイン文化計画演習 II	3.0	3 年前期金曜 1 限後半 3 年前期金曜 2 限	宮崎 清他	意匠 21
TF036001	人間工学演習 I	5.0	3 年前期月曜 3 限後半 3 年前期月曜 4,5 限	勝浦 哲夫他	意匠 22
TF037001	材料計画演習 II	3.0	3 年前期月曜 1 限後半 3 年前期月曜 2 限	青木 弘行他	意匠 22
TF039001	デザインシステム計画演習 I	3.0	3 年前期金曜 3 限 3 年前期金曜 4 限前半	杉山 和雄他	意匠 23

2002年度 工学部デザイン工学科Aコース(デザイン)シラバス

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TF040001	製品デザイン演習 II	3.0	3 年前期木曜 2 限 3 年前期木曜 3 限前半	永田 喬他	意匠 23
TF041001	環境デザイン演習 I	3.0	3 年前期金曜 4 限後半 3 年前期金曜 5 限	清水 忠男	意匠 24
TF042101	デザイン心理学演習 I	3.0	3 年前期火曜 3 限 3 年前期火曜 4 限前半	日比野 治雄他	意匠 24
TF043101	造形デザイン演習・平面	3.0	3 年前期木曜 4 限 3 年前期木曜 5 限前半	堀田 明博他	意匠 25
TF038101	生活デザイン造形演習	3.0	3 年前期水曜 1 限 3 年前期水曜 2 限前半	堀田 明博他	意匠 25
TF044001	環境デザイン演習 II	3.0	3 年後期金曜 4 限後半 3 年後期金曜 5 限	清水 忠男	意匠 26
TF045001	生理人類学	2.0	3 年後期火曜 2 限	勝浦 哲夫他	意匠 26
TF046001	材料計画演習 III	3.0	3 年後期木曜 4 限後半 3 年後期木曜 5 限	青木 弘行他	意匠 27
TF047001	デザインシステム計画 II	2.0	3 年後期火曜 5 限	杉山 和雄他	意匠 27
TF048001	デザインシステム計画演習 II	3.0	3 年後期金曜 3,4,5 限	渡邊 誠他	意匠 28
TF049101	デザイン心理学演習 II	3.0	3 年後期火曜 3 限 3 年後期火曜 4 限前半	日比野 治雄他	意匠 28
TF050101	展示デザイン演習	3.0	3 年後期水曜 1 限 3 年後期水曜 2 限前半	佐藤 公信他	意匠 29
TF060501	人間工学演習 II	3.0	4 年前期火曜 1 限後半 4 年前期火曜 2 限	勝浦 哲夫他	意匠 29
TF060101	音響デザイン演習	3.0	4 年前期水曜 3 限 4 年前期水曜 4 限前半	佐藤 公信	意匠 30
TF053001	学外実習	2.0	3,4 年通期集中	デ工(意匠系)各教官	意匠 30
TF055001	メディアデザイン演習 I	3.0	2 年後期水曜 3 限 2 年後期水曜 4 限前半	宮崎 紀郎他	意匠 31
TF056001	C G 演習	3.0	2 年後期水曜 4 限後半 2 年後期水曜 5 限	玉垣 庸一他	意匠 31
TF057001	デジタルデザイン論	2.0	3 年前期金曜 5 限	(大平 智弘)	意匠 32
TF058001	メディアデザイン演習 II	3.0	3 年前期火曜 1 限後半 3 年前期火曜 2 限	宮崎 紀郎他	意匠 32
TG093201	機械工作実習 B	1.0	4 年前期金曜 4 限 4 年前期金曜 5 限前半	渡部 武弘	意匠 33
TF061001	デザイン工学総合プロジェクト	6.0	3 年後期月曜 3,4 限	デ工(意匠系)各教官	意匠 33
TF061004	デザイン工学総合プロジェクト	6.0	4 年前期火曜 3,4,5 限 4 年後期月曜 3,4,5 限	デ工(意匠系)各教官	意匠 34
TF062001	卒業研究(意匠・3年)	6.0	3 年後期月曜 1,2 限	デ工(意匠系)各教官	意匠 34
TF062101	卒業研究(意匠・4年)	6.0	4 年前期火曜 3,4,5 限 4 年後期月曜 3,4,5 限	デ工(意匠系)各教官	意匠 35

授業科目名 : 図学演習
 科目英訳名 : Descriptive Geometry (Lec & Lab)
 担当教官 : 永田 喬, 野口 尚孝, 田内 隆利
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T046
 開講時限等: 1 年前期金曜 2 限
 講義室 : 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)

[講義目的] 空間を把握し、操作、表示する能力を涵養し、デザインの思考展開および伝達手段として必要な三次元空間表示のための、基礎的図法の理論の学習と演習を行う。授業は二部構成とし、第一部は平行投影図法、第二部は中心投影図法からなる。

[講義内容] 第1回 用具説明, クラス分け, イントロダクション 第2回 投影法, 直線, 直線と平面の関係 / 写生および透視図法概論 第3回 平面と平面の関係 / 2点透視図法 第4回 切断 / 1点透視図法および1点透視図法に似た2点透視図法 第5回 相関体 / 3点透視図法 第6回 展開 / 円の透視図法 第7回 軸測投影 / 同上 第8回 試験 / 同上 第9回 クラス入れ換え / 写生および透視図法概論 / 投影法, 直線, 直線と平面の関係 第10回 2点透視図法 / 平面と平面の関係 第11回 1点透視図法および1点透視図法に似た2点透視図法 / 切断 第12回 3点透視図法 / 相関体 第13回 円の透視図法 / 展開 第15回 同上 / 試験

授業科目名 : デザイン工学セミナー(意匠系)
 科目英訳名 : Seminar: Introduction to Design
 担当教官 : デ工(意匠系)各教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T047
 開講時限等: 2 年前期月曜 2 限
 講義室 : 各研究室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)

[講義目的] デザイン工学科意匠系における勉学の方式や態度、問題意識や関心の持ち方など、受講生と教官が一体となって思考する。具体的には、デザイン工学科意匠系の各教育研究分野の教育研究内容についてセミナー形式の授業によって触れることにより、デザイン科学・デザイン計画の領域の基本的理解を求めるとともに、学生と教官のコミュニケーションの基盤の形成を促す。

[講義内容] 10名程度のグループを編成し、それぞれのグループ単位で1教育研究分野につき3週間、合計4つの教育研究分野でのセミナー形式の授業を受講する。各教育研究分野でのセミナーを終了した後、全体での討論を行う。各教育研究分野での3週間のセミナーは、それぞれの分野の教育研究の特色に応じて計画されるが、概ね以下の内容である。各教育研究分野でのセミナー 第1週: 教育研究分野の教育および研究の内容紹介 第2週: 教育研究分野の特色に応じた演習 第3週: 演習の内容を踏まえた討論

[備考] 第一回目の授業にて受講の意志を確認し、受講生を決定する。第二回目以降の授業時間帯については、担当教官と受講生で相談の上、その都度決定する。受け入れ人数: 185人以下(1年次に限る) 課題、レポートおよびクラスにおける討論により成績評価を行う。

授業科目名 : デザイン工学セミナー(意匠系)
 科目英訳名 : Seminar: Introduction to Design
 担当教官 : デ工(意匠系)各教官
 単位数 : 2.0単位
 履修登録コード: T048
 開講時限等: 1年後期水曜1限
 講義室 : 工2号棟102教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)

[講義目的] デザイン工学科意匠系における勉学の方式や態度、問題意識や関心の持ち方など、受講生と教官が一体となって思考する。具体的には、デザイン工学科意匠系の各教育研究分野の教育研究内容についてセミナー形式の授業によって触れることにより、デザイン科学・デザイン計画の領域の基本的理解を求めるとともに、学生と教官のコミュニケーションの基盤の形成を促す。

[講義内容] 10名程度のグループを編成し、それぞれのグループ単位で1教育研究分野につき3週間、合計4つの教育研究分野でのセミナー形式の授業を受講する。各教育研究分野でのセミナーを終了した後、全体での討論を行う。各教育研究分野での3週間のセミナーは、それぞれの分野の教育研究の特色に応じて計画されるが、概ね以下の内容である。各教育研究分野でのセミナー 第1週:教育研究分野の教育および研究の内容紹介 第2週:教育研究分野の特色に応じた演習 第3週:演習の内容を踏まえた討論

[備考] 第一回目の授業にて受講の意志を確認し、受講生を決定する。第二回目以降の授業時間帯については、担当教官と受講生で相談の上、その都度決定する。受け入れ人数:185人以下(1年次に限る) 課題、レポートおよびクラスにおける討論により成績評価を行う。

授業科目名 : デザインと人間 [学部・放送大学開放科目]
 科目英訳名 : Design and humanity (Lec)
 担当教官 : デ工(意匠系)各教官
 単位数 : 2.0単位
 履修登録コード: T049
 開講時限等: 1年前期木曜5限
 講義室 : 工2号棟202教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF1:デザイン A デザイン	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)		
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	個別科目 (C14)			
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)				
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)				
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)				
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)				
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ2:都市環境 メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] デザインに係わるさまざまな領域の理念、歴史、方法論などについて基本的な理解を求めるとともに、これらの知識の統合により、人間社会におけるデザインの役割、進むべき方向性などを考察する。

[講義内容] デザイン工学科意匠系の各教育研究分野の教官が、それぞれの専門の立場から講義を行う。 第1週:オリエンテーション 第2週:デザインの歴史と展望 第3週:デザイン工学科意匠系の歴史 第4週:課題「デザインとは何か(1)」 第5週:人間の機能から見たデザイン 第6週:材料計画から見たデザイン 第7週:システムとしてのデザイン企画・計画の方法 第8週:工業製品デザインの事例 第9週:デザインと生活文化 第10週:ビジュアルコミュニケーションの領域とその役割 第11週:環境とデザインの関わり 第12週:デザインの基礎と造形 第13週:色彩と形の心理学 第14週:課題「デザインとは何か(2)」 第15週:総合討論

授業科目名 : 基礎造形演習
 科目英訳名 : Basic Design Training
 担当教官 : 瀧 徹, 田内 隆利, (清原 明生)
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T04A, T04B

開講時限等: 1 年前期火曜 3 限 / 1 年前期火曜 4 限前半
 講義室 : 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室,
 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] デザイン作業の基本的能力となる造形力を身につけることを目的とする。自然物、人工物を対象にその形態や色彩、テクスチャ、動き等を正確に観察、描写し、また、与えられた条件の中で立体を構成する訓練を行なう。

[講義内容] 第 1 回 演習の目的の説明・草花をコンテ、鉛筆淡彩で描く 第 2 回 継続、完成 第 3 回 材質の異なる複数の対象をコンテ、鉛筆淡彩で描く 第 4 回 継続、完成 第 5 回 動く生物をコンテ、鉛筆淡彩で描く 第 6 回 継続、完成 第 7 回 継続、完成 第 8 回 立体造形のためのテーマ、説明、道具についての説明 第 9 回 材木に直接デッサンし、構想を描きながら荒彫りを始める 第 10 回 全体の形を認識 第 11 回 素材の特性、大きさ・量と形や位置との関係を検討 第 12 回 イメージの方向性、表現方法、形の整理 第 13 回 全体と細部のバランスを考慮して彫る 第 14 回 完成 第 15 回 講評、採点

授業科目名 : 製品デザイン表示論演習 I
 科目英訳名 : Product Design Presentation Methods I (Lec & Lab)
 担当教官 : 杉山 和雄, 渡邊 誠, (石田 貞良)
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T04C, T04D

開講時限等: 1 年前期月曜 4 限 / 1 年前期月曜 5 限前半
 講義室 : 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室,
 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年
TF1:デザイン A デザイン	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)		
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 製品デザインにおける必要な表示方法を習得する。基本形状の把握と表示方法からスタートし、ハイライトやリフレクションによる表現技法を演習により習得する。本演習では、直線を主体とした工業製品の表現方法を主に、家電製品のデザインを対象として、スケッチおよびレンダリングを描く。

[講義内容] 第 1 回 導入・基礎技法取得 オリエンテーション 第 2 回 基礎 1: 基礎図形の描画と質感表現 その 1 第 3 回 基礎図形の描画と質感表現 その 2 第 4 回 基礎 2: カラーペンシルによる立体図形の作画 その 1 第 5 回 同 その 2 第 6 回 同 その 3 第 7 回 基礎 3: マーカーによる立体図形の作画 その 1 第 8 回 同 その 2 第 9 回 同 その 3 第 10 回 応用 1: 家電製品のレンダリング マーカーによる基礎立体の描画と質感表現 マーカーによる家電製品のスケッチ その 1 第 11 回 同 その 2 第 12 回 同 その 3 第 13 回 マーカーによる家電製品のレンダリング その 1 第 14 回 同 その 2 第 15 回 同 その 3

授業科目名 : 製品デザイン表示論演習 II
科目英訳名 : Product Design Presentation Methods II (Lec & Lab)
担当教官 : 杉山 和雄, (山崎 剛), 渡邊 誠
単位数 : 3.0 単位
履修登録コード: T04E, T04F
開講時限等: 1 年後期木曜 4 限 / 1 年後期木曜 5 限前半
講義室 : 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室, 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年
TF1:デザイン A デザイン	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)		
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 製品デザインにおける必要な表示方法を習得する。製品単体の表示だけでなく、製品を使用する人間や製品が使用される状況を含めた表現技法について演習により習得する。本演習では、自動車および家電製品の両方を対象とし、そのスケッチおよびレンダリングについて習得する。

[講義内容] 第 1 回 オリエンテーション 第 2 回 応用 2: 自動車のレンダリング カラーペンシル・パステル・マーカーによる自動車描画の基礎 カラーペンシル・パステルによるスケッチ その 1 第 3 回 同 その 2 第 4 回 同 その 3 第 5 回 自動車のレンダリング その 1 第 6 回 同 その 2 第 7 回 同 その 3 第 8 回 応用 3: 人間・状況を入れたスケッチ・レンダリング 情報機器のスケッチ その 1 第 9 回 同 その 2 第 10 回 同 その 3 第 11 回 パーソナル機器のレンダリング その 1 第 12 回 同 その 2 第 13 回 同 その 3 第 14 回 総合表示 第 15 回 総合表示

授業科目名 : デザインの歴史
科目英訳名 : History of Design (Lec)
担当教官 : 宮崎 清, デ工 (建築) 専任未定
単位数 : 2.0 単位
履修登録コード: T050
開講時限等: 1 年後期火曜 4 限
講義室 : 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度 1996 年
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門必修 (F10)	専門選択必修 (F20)		T4:情報 A	専門選択 (F30)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)						

[講義目的] 近代におけるデザイン文化の歴史的展開過程を要因 - 理念 - 実践の関連のなかでとらえ、人類の生活文化形成にデザインが果たしてきた役割とその意味を、ヨーロッパにおけるデザイン運動をはじめ、日本の伝統美術、伝統工芸、アジアの伝統的生活文化、アジアの伝統美術などの事例に基づいて紹介し検討する。これらの史的把握を通して、文化としてのデザインの今日的課題を考察する。

[講義内容] 第 1 回: デザインの歴史認識の方法、デザインにおける近代の意味。 第 2 回: 機械化時代の到来と世界文明の集積。 第 3 回: 生活の芸術化。 第 4 回: 芸術と工芸の統合。 第 5 回: アジア・日本の伝統美術への関心。 第 6 回: アジア・日本の伝統工芸への関心。 第 7 回: 工業化と規格化。 第 8 回: デザインの体系化。 第 9 回: 機械化時代の新装飾。 第 10 回: インダストリアルデザイナーの誕生。 第 11 回: 日本における伝統美術の発展過程。 第 12 回: 日本における伝統工芸の発展過程。 第 13 回: 日本の近代におけるデザインの発展過程。 第 14 回: 文化としてのデザインの今日的課題と展望。 第 15 回: テストまたはレポート。 なお、各回の授業においては、多数の映像を用い、作品の紹介ならびに鑑賞を行う。

[教科書・参考書] 授業のなかで紹介する

授業科目名 : 基礎人間工学
 科目英訳名 : Basic Ergonomics (Lec)
 担当教官 : 勝浦 哲夫, 岩永 光一, 寺内 文雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T051

開講時限等: 1 年後期火曜 5 限
 講義室 : 工 2 号棟 103 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)				

[講義目的] 真に健康で快適な生活環境をデザインするためには人間の生物科学的特性の理解が必要である。人間-環境-機械系における人間の生理的・心理的機能と構造を概説し、使いやすい機器・快適な環境をデザインするための人間工学の基礎を学習する。

[講義内容] 第 1 回 序論:人間工学とはなにか 第 2 回 人間工学とデザイン 第 3 回 人間の感覚特性
 第 4 回 視覚と光(1) 第 5 回 視覚と光(2) 第 6 回 聴覚と音 第 7 回 快適性評価 第 8
 回 人体の構造と機能(1) 筋骨格系 第 9 回 人体の構造と機能(2) 呼吸循環系 第 10 回 人体の
 構造と機能(3) 神経系 第 11 回 人体の構造と機能(4) 感覚系 第 12 回 人間の成長 第 13 回
 人間の形態 第 14 回 人間の行動 第 15 回 期末テスト

[教科書・参考書] 「環境人間工学」佐藤方彦・勝浦哲夫著、朝倉書店

[備考] 受け入れ人数: 100 名以内 成績評価法: テスト他

授業科目名 : 材料計画論 (学部・放送大学開放科目)
 科目英訳名 : Materials Planning (Lec)
 担当教官 : 青木 弘行
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T052

開講時限等: 1 年後期水曜 3 限
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境				専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] デザインを展開するに当たって必要となる材料関連問題を、材料計画の観点から概説する。また、事例紹介を通して、現代における材料開発や材料関連技術の動向について解説する。

[講義内容] 材料計画 (Materials Planning) の考え方、デザインと材料特性 - 経済的特性・環境的特性・感性・感覚的特性・製造的特性・物理的特性・化学的特性等 - の関係について解説すると同時に、デザインにおいて必要となる各種材料について事例をまじえて概説する。また、材料開発、材料関連技術の動向と方向性についても言及する。

[教科書・参考書] 授業時に指示する。

[備考] 成績評価法: テスト他

授業科目名 : 基礎デザイン演習
 科目英訳名 : Design Fundamentals (Lec & Lab)
 担当教官 : 野口 尚孝, 田内 隆利
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T053, T054
 開講時限等: 1 年後期火曜 2 限後半 / 1 年後期火曜 3 限
 講義室 : 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室,
 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] ものをつくる行為での目的と手段の関係を、ことばによる表現と形態表現の関連や素材の持つ性質による形状の制約を考えさせるなどいくつかの課題を通して体験的に獲得させるとともに基礎的表現力を養成する。

[講義内容] イメージことばによる目的表現をドローイングによって形態表現に変換させる課題、ある目的を実現させる際に手段としての素材を限定して考えさせる課題など、課題の目的とその適切な実現方法を考えさせながら実体としてのものと抽象概念としての目的意識の関係を体験的に獲得させ、同時に基礎的な表現力を身に付けさせる。また完成した作品を学生自身にも評価をさせ、教官の評価との比較検討を行う。

授業科目名 : デザイン製図
 科目英訳名 : Drawing Methods for Design (Lab)
 担当教官 : 杉山 和雄, 渡邊 誠, (内田 洋彰)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T055
 開講時限等: 1 年後期月曜 2 限
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室, 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] JIS B0001 の習得と形の成り立ちの理解および曲面設計の習得を目的とする。

[講義内容] 第 1 回 概論: デザイン製図および図学ならびに関連する製図法 第 2 回 JIS B0001 の解説 1
 第 3 回 JIS B0001 の解説 2 第 4 回 演習 第 5 回 演習 第 6 回 演習 第 7 回 演習 第 8
 回 副投影面を用いる表示 第 9 回 演習 第 10 回 演習 第 11 回 形のなりたちについて 第 12
 回 曲面設計法解説 1 第 13 回 曲面設計法解説 2 第 14 回 演習 第 15 回 演習

授業科目名 : 製品デザイン論 I
 科目英訳名 : Some Aspects of Product Design I (Lec)
 担当教官 : 永田 喬
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T056
 開講時限等: 1 年後期水曜 5 限
 講義室 : 工 2 号棟 102 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 製品デザインの基礎的な知識を、具体的な事例を通してその全体像を把握し、製品デザイン技術に資することを目的とする。あわせて幾つかの課題を課して学習を補強する。

[講義内容] 第 1 回 オリエンテーション (授業の進め方と課題の発表) 現代工業デザイン誕生の背景 第 2 回
 現代工業デザインの発展の系譜 第 3 回 同上 (その 2) 第 4 回 工業デザインの職能分化の変遷と
 確立 第 5 回 社会的機能としての職能 第 6 回 製品の 3 側面 第 7 回 ひと - 機械の系 第 8 回
 同上 (その 2) 第 9 回 機器の構造と造形 第 10 回 同上 (その 2) 第 11 回 デザイン技術と
 造形 第 12 回 ハードウェアとソフトウェア分析と可能性の展開と限界 第 13 回 形と素材と生産
 第 14 回 同上 (その 2) 第 15 回 デザインの思考と方法

授業科目名 : 視覚デザイン基礎演習
 科目英訳名 : Visual Communications Design Fundamentals (Lec & Lab)
 担当教官 : 宮崎 紀郎, 玉垣 庸一, 小原 康裕
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T057, T058
 開講時限等: 1年後期金曜 4 限後半 / 1年後期金曜 5 限
 講義室 : 工 2-アトリエ(2-601), 工 2-第一製図室,
 工 2-アトリエ(2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)				

[講義目的] 視覚デザインの基礎的なことからの概説と基本要素についての演習を行なう。スミによる作図、作画および彩色による作図、作画の基礎を学び、それぞれの課題制作を行なう。

[講義内容] 第1回 オリエンテーション: この授業の目的、内容。 第2回 課題1「H」のかたちを描く。
 第3回 課題1の講評。課題2「箱をつくろう」の説明 課題3「レタリング」の説明 30文字以上の「完成された書体」を彩色して書く。B3ケント紙使用。課題4「似顔絵」の説明。先生1名、もう一人(誰でも)A4サイズに一名ずつ描いてB3台紙に貼り込む。人物名を台紙または画面内にレタリングする。課題5「模写」の説明。ポスターなど印刷された広告物を本物そっくりに描く。A4サイズ以上で文字が入っているものを選ぶこと。台紙に、本物と模写を並べて貼る。B3以上はそのまま提出。 第4回 課題2「箱」の試作。即日設計。 第5回 課題2「箱」の中間講評。色の塗り方デモンストレーション。 第6回 課題2「箱」本制作。即日設計。 第7回 課題2の講評。配色に関する講義。 第8回 課題3「レタリング」の説明。レタリングの講義。レタリングの練習1。 第9回 レイアウトの極意を伝授。レタリングの練習2。模写の候補を持参して情報開示、交換。 第10回 課題3「レタリング」の即日設計。 第11回 課題3 講評。課題4「似顔絵」のスケッチ。 第12回 課題4「似顔絵」の即日設計。 第13回 課題4「似顔絵」の講評。 第14回 課題5「模写」の講評。 第15回 試験

授業科目名 : デザイン文化計画 [学部・放送大学開放科目]
 科目英訳名 : Culture of Design (Lec)
 担当教官 : 宮崎 清, デ工(建築)専任未定
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T059
 開講時限等: 2年前期火曜 2 限
 講義室 : 工 2号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TE:都市環境					専門選択 (F30)
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築		個別科目 (C14)			専門選択 (F30)
TG:電子機械 A				専門選択 (F30)	
TH:情報画像 A		専門選択 (F30)			

[講義目的] デザインが人類の生活文化形成の上で果たしてきた役割と意味について、日本の伝統美術および伝統的生活文化、アジアの伝統美術および伝統的生活文化などの具体的事例を紹介しながら考察する。特に、生活文化の形成に不可欠な生活用具について、その意味・記号性・風土性・伝播・変遷などを検討し、今日の生活文化全般にわたるデザイン計画について考察する。

[講義内容] 第1回: 日本の伝統美術と工芸。 第2回: アジアの伝統美術と工芸。 第3回: 伝統的生活文化と生活用具~自然の素材・造形から「プリコラージュ」。 第4回: 伝統的生活文化と生活用具~四季・自然をモチーフに。 第5回: 生活の構造と生活用具~空間の意味性「結界の美」。 第6回: 生活の構造と生活用具~時間の意味性「ハレとケ」。 第7回: 伝統の持つ新しいメッセージ~「用の美」生活と生活用具。 第8回: 伝統の持つ新しいメッセージ~作法と言い伝え。 第9回: 伝統の持つ新しいメッセージ~使いまわしの精神「モノの輪廻転生」。 第10回: 伝統の持つ新しいメッセージ~使い続けることで美くなる。 第11回: 伝統の持つ新しいメッセージ~「一物全体活用」の精神。 第12回: 伝統の持つ新しいメッセージ~「自然との共生」の意味。 第13回: 生活用具の創作を通じた地域開発計画~生き甲斐とものづくり。 第14回: 「地産地消」からはじまるものづくり~グローカリゼーション。 第15回: テストまたはレポート。
 なお、各回の授業においては、多数の映像を用い、作品の紹介並ならびに鑑賞を行う。

[教科書・参考書] 授業のなかで紹介する。

授業科目名 : メディアデザイン論
 科目英訳名 : Theory of Communications Media Design (Lec)
 担当教官 : 宮崎 紀郎
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T05A
 開講時限等: 2 年前期水曜 2 限
 講義室 : 工 2 号棟 103 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度 1997 年
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		T1:工業意匠 A	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TF4:デザイン A 建築		専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学				専門選択 (F30)	その他 (Z99)		

[講義目的] ビジュアルコミュニケーションに関する媒体(メディア)が、社会の中でどのような役割を果たしているのか、マス・コミュニケーション媒体を中心に、その機能と媒体を取り巻く状況について、具体的な事例を上げながら考察する。

[講義内容] 第1回 オリエンテーション。この講義の概略。わたくしの考えるデザイン - - その中での「視覚媒体論」の位置づけ。第2回 いきなり最終回。「視覚媒体」の果たす社会的役割 - - ライフ掲載の写真をたどって。第3回 マス・コミュニケーション媒体とその特性。マス・コミュニケーション4大媒体、その他媒体。ライフサイクルと媒体接触時間。第4回 マス・コミュニケーション機能。環境と疑似環境。疑似環境の環境化。媒体の中継機能と環境創出機能。第5回 マス・コミュニケーション媒体としての新聞。わたくしたちの新聞デザインの研究から・その1。第6回 報道の客観性と主観。わたくしたちの新聞デザインの研究から・その2。第7回 媒体の話。媒体の歴史。写真の歴史。第8回 「視覚媒体」のエレメント。写真とイラストレーション。写真表現の特性。写真の見方。第9回 記号の話。記号と意味。ものの記号化、こと記号化。第10回 二つの写真集を見る。南良和「ある山村・農民」小関与四郎「九十九里浜」。第11回 この授業で課したレポートの紹介と講評。レポート: 新聞記事を見て、雑誌の表紙の批評、媒体と新聞の今後について。第12回 コミュニケーションの話。人間コミュニケーション。コミュニケーションモデル。第13回 広告の話。広告制作、代理店、広告費。P.R.、プロパガンダ、パブリシティ。広告と媒体との関係。第14回 C Iの話。C Iでデザインは変わったか。デザインはひとつ。第15回 もう一度最終回。コミュニケーションの観点から、ふたたびデザインと「視覚媒体」について考える。

授業科目名 : CG理論
 科目英訳名 : Theory of Computer Graphics (Lec)
 担当教官 : 玉垣 庸一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T05B
 開講時限等: 2 年前期水曜 1 限
 講義室 : 工 2 号棟 103 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築				専門選択 (F30)	
TH:情報画像 A		専門選択 (F30)			
TH4:情報画像 A 画像システム工学				専門選択 (F30)	

[講義目的] コンピュータによる画像生成の数理的な仕組みを色彩情報、形状情報の両側面からとらえて論じる。

[講義内容] 第1回 CG画像生成システムの概略 第2回 CG画像生成システムの仕組み ハードウェアの基礎 第3回 CG画像生成システムの仕組み アセンブリ言語によるプログラミング 第4回 サブルーチンと push, pop 第5回 2次元アフィン変換 第6回 3次元アフィン変換 図形変換と座標変換 第7回 シーングラフと push, pop 第8回 ワールド座標とローカル座標 -図形変換の構文論と意味論- 第9回 シーングラフからフローチャートへ 第10回 透視変換とフォトリアリズム 第11回 Zバッファアルゴリズム 第12回 レイトレーシングアルゴリズム 第13回 CGと色1 カラーモデルと表色系 第14回 CGと色2 CGの陰影計算と色 第15回 試験

授業科目名 : 環境デザイン論
 科目英訳名 : Theory of Environmental Design (Lec)
 担当教官 : 清水 忠男
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T05C
 開講時限等: 2 年前期木曜 2 限
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築		専門選択 (F30)			

[講義目的] 人間と空間との関わり方を、心理や行動やそれらの背後にある文化などを通して理解し、望ましい環境形成に果たす私たち一人一人の役割とデザインの可能性について、ともに考える。

[講義内容] 1 ガイダンス 居心地のよい環境とは何か 2 第1課題 3 第1課題のプレゼンテーション及びディスカッション 第2課題の説明、用具貸与 4 生き延びるための空間把握 5 障害のない環境づくり 6 個人的空間領域 7 メッセージを伝達する空間 8 第2課題プレゼンテーション及びディスカッション 9 空間の演出 第3課題の説明 10 第3課題:調査/作業 11 第3課題プレゼンテーション及びディスカッション(1) 12 第3課題プレゼンテーション及びディスカッション(2) 13 「空間」から「環境」へ 14 共生意識の共有 環境デザインの行方 15 まとめ ディスカッション 小論文

[履修条件] 各課題及び小論文は必ず提出のこと。毎回提出するゲーム・レポート等によって確認される出欠席状況は成績評価に反映する。

[教科書・参考書] 「行動・文化とデザイン」(清水忠男著 SD 選書#215 / 鹿島出版会) / 「ふれあい空間のデザイン」(清水忠男著 SD 選書#233 / 鹿島出版会)

授業科目名 : 環境デザイン製図演習
 科目英訳名 : Environmental Design Drawing Methods (Lab)
 担当教官 : (原 寛道), (高橋 久弥), (藤本 香)
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T060, T061
 開講時限等: 2 年前期火曜 4 限後半 / 2 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 2-アトリエ(2-601), 工 2-第一製図室,
 工 2-アトリエ(2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		T1:工業意匠 A	1997 年 専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TF4:デザイン A 建築		専門選択 (F30)					

[講義目的] 環境デザインを行う上で必要とされる各種図面の描き方を理解・修得する。展示計画、住宅設計、景観計画などに関わる具体的な事例を基に演習を行う。

[講義内容] 第1回 ガイダンス/景観計画のための製図の基礎 第2回 " 第3回 " 第4回 "
 第5回 " 第6回 展示計画のための製図の基礎 第7回 " 第8回 " 第9回 "
 第10回 " 第11回 住宅・小店舗設計のための製図の基礎 第12回 " 第13回 " 第14回 "
 " 第15回 "

授業科目名 : 色彩科学 (学部・放送大学開放科目)
 科目英訳名 : Color Science
 担当教官 : 日比野 治雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T05F
 開講時限等: 2 年前期金曜 4 限
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境					専門選択 (F30)
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)				
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)				
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TG:電子機械 A				専門選択 (F30)	
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)				
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)				
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)				

[講義目的] 「色彩」について深く理解するためには、色彩を物理的側面と心理的側面の 2 つの側面から考える方法を会得しなければならない。色は知覚現象であるので、色についての正確な知識を得るためには、その心理的側面に対する認識が不可欠である。しかし一般的に、色彩の心理的側面については、それほど深く考慮していない人々が多い。そこで、本授業では、特に色彩の心理的側面に焦点を当てて講義する。

[講義内容] 以下のようなトピックについて詳しく解説する：色とは何か（色彩研究の歴史およびニュートンの色彩論など）；色覚の理論（ヤング・ヘルムホルツの三色説とヘリングの反対色説）、色の体系化（マンセルの色体系など）、色の測定（測色学の基礎、混色と等色、RGB 表色系、CIE 表色系など）、色知覚（色の知覚現象の例、色差の弁別、色の見え、色順応など）、色覚異常（色の生理的基礎過程など）、色の応用（色の応用的側面など）、色研究の現状および全体のまとめ・なお、上記の講義内容は、都合により変更されることもある。

[履修条件] 特に条件はないが、毎回出席することが前提である（毎回出欠をとる）。

[教科書・参考書] 色彩心理学入門（大山正著） 中公新書 1169

[備考] 受け入れ人数：100 人程度 成績評価法：出席，課題および期末試験

授業科目名 : 環境デザイン表示論演習
 科目英訳名 : Environmental Design Presentation Methods (Lec & Lab)
 担当教官 : 佐藤 公信, (小椋 勇記夫)
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T05D, T05E
 開講時限等: 2 年後期金曜 1 限後半 / 2 年後期金曜 2 限
 講義室 : 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室, 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度 1996 年 専門選択 (F30)
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		TB:情報 B	専門選択 (F30)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)						
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)						
TF4:デザイン A 建築		専門選択 (F30)			専門選択 (F30)		

[講義目的] 環境デザインを行うために必要な図法や技法を講義・演習を通して理解し、的確な表現手法を習得する。講義では、各種図法の理論的側面を、演習では、基礎的な図面表現から、透視図法の着彩技法までを体系的に学ぶ。

[講義内容] 第 1 回 ガイダンス 第 2 回 空間製図の基礎 第 3 回 製図の基礎 小規模店舗のデザイン
 第 4 回 内部空間の透視図法による表示 1 第 5 回 内部空間の透視図法による表示 2 第 6 回 内部空間の透視図法による表示 3 第 7 回 外部空間の透視図法による表示 第 8 回 ガイダンス 第 9 回 インテリア透視図の着彩 第 10 回 インテリア透視図の着彩 第 11 回 講評 第 12 回 エクステリア透視図の着彩 第 13 回 エキジビション < デザイン及び下描き > 第 14 回 エキジビション < 着彩 > 第 15 回 講評

授業科目名 : 造形力学論
 科目英訳名 : Dynamics of Objects (Lec)
 担当教官 : 久保 光徳
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T062

開講時限等: 2 年前期金曜 5 限
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 自然物、人工物を含めた様々なモノの形状や形態が示す力学的意味の解釈方法と、その解釈をベースとした力学的な造形過程を可能とする力学的概念の紹介を本講義の目的とし、材料力学、構造力学、弾性力学、振動工学そして流体力学に内在する造形的概念について説明する。

[講義内容] 第 1 回 形と力に対する直感的導入 第 2 回 モノの形と境界条件との関係 第 3 回 モノの基本的な力学特性 第 4 回 曲げの理論 1 (梁理論) 第 5 回 曲げの理論 2 (梁理論) 第 6 回 自然物の形と力 1 (木、竹、骨など) 第 7 回 自然物の形と力 2 (木、竹、骨など) 第 8 回 繊維強化型複合材料に見られる異方性 第 9 回 繊維強化型複合材料に見られる異方性 第 10 回 ハニカム構造材料 (ハニカムサンドイッチパネル) 第 11 回 モノが示す現実的な変形挙動 1 (非線形挙動: 弾性座屈) 第 12 回 モノが示す現実的な変形挙動 2 (紙コップの座屈) 第 13 回 モノが示す振動特性 1 (固有振動: 共振現象) 第 14 回 モノが示す振動特性 2 (振動と波動) 第 15 回 有限要素法概説 (CAD・CAE)

授業科目名 : 基礎デザイン論 I
 科目英訳名 : Theory of Design Fundamentals I (Lec)
 担当教官 : 野口 尚孝
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T063

開講時限等: 2 年前期金曜 3 限
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[講義目的] デザインの基礎理論として「ものをつくる行為」の論理構造についてを論じ、目的と手段、直観と論理、表現方法、評価と意思決定といったデザイン行為の主体が関わる基本的問題、およびデザインにおける形態表現について実例を通じてわかりやすく述べる。

[講義内容] 前半では、ものをつくることの意味と、それによる人間の思考過程の形成についてを歴史的、論理的に捉え返し、その中で、普遍的なデザイン行為と職能としてのデザインとの区別を明確にし、普遍的なデザイン行為における創造的行為や論理的推論などについてを述べる。後半では、自然物の形態の持つ論理と人工物の持つ形態の例を挙げ、それらを通じて人間の表現におけるコンピュータの位置づけを行う。

授業科目名 : 基礎製品デザイン演習
 科目英訳名 : Product Design Fundamentals (Lec & Lab)
 担当教官 : 渡邊 誠, (久米 寿明)
 単位数 : 4.0 単位
 履修登録コード: T064, T065
 開講時限等: 2年前期水曜 4,5 限
 講義室 : 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室,
 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 製品デザインにおいて必要な基礎能力を, 具体的な課題を通して習得する。主に消費財を対象に, それらの抱えるデザインの諸問題の抽出と, その解決法の具体的提案を行うことで, 製品デザインにおける基礎能力を習得する。

[講義内容] 第1回 ガイダンス 第2回 デザインコンセプトの作成方法1 第3回 デザインコンセプトの作成方法2 第4回 デザインターゲットの作成方法1 第5回 デザインターゲットの作成方法2 第6回 アイデアスケッチの展開方法1 第7回 アイデアスケッチの展開方法2 第8回 アイデアスケッチの展開方法3 第9回 レンダリングの方法1 第10回 レンダリングの方法2 第11回 レンダリングの方法3 第12回 プレゼンテーションテクニック1 第13回 プレゼンテーションテクニック2 第14回 プレゼンテーションテクニック3 第15回 最終プレゼンテーション

授業科目名 : 製品デザイン論 II
 科目英訳名 : Some Aspects of Product Design II (Lec)
 担当教官 : 釜池 光夫
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T066
 開講時限等: 2年前期水曜 3 限
 講義室 : 工 2号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築			専門選択 (F30)		

[講義目的] より実践的なデザイン能力の向上を目的とし, 具体的な製品デザインの事例を基に理解し, 製品デザイン特に乗用車デザインの諸技術要件プロセスについて学習する。あわせて幾つかの課題を課して学習を補強する。

[講義内容] 第1回 製品デザイン総論 (1) デザインの定義 生活の道具・製品 第2回 製品デザイン総論 (2) 産業とデザイン 第3回 製品のかたち (1) 機能とかたち (乗用車デザインの事例) 第4回 製品のかたち (2) ソフトとかたち (乗用車デザインの事例) 第5回 製品の要件 (1) デザイン要件の分類 第6回 デザインの歴史 (1) 乗用車の創生期 第7回 デザインの歴史 (2) 乗用車の現代と将来 第8回 プロセス総論 (1) デザイン開発のプロセス 第9回 コンセプト (1) デザインコンセプト 第10回 パッケージング (1) パッケージングコンセプト 第11回 学ぶ・知る (2) 調査・演習 (プレスト, KJ) 第12回 創る・遊ぶ (3) 発想アイデア演習、総合・シュミレーション演習 第13回 研究の方法論 (1) デザイン研究の方法論 第14回 課題 (2) 複雑変動系への挑戦 第15回 レポート・テスト 「産業デザインの課題」

授業科目名 : 視覚デザイン演習
 科目英訳名 : Visual Communications Design (Lec & Lab)
 担当教官 : 玉垣 庸一, 小原 康裕, (戸塚 泰幸)
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T067, T068
 開講時限等: 2 年前期木曜 4 限後半 / 2 年前期木曜 5 限
 講義室 : 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室,
 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築		専門選択 (F30)			

[講義目的] 情報の視覚化を良質に行うための基礎感度の養成。平面の作業に必要な技術を養う。

[講義内容] 第 1 回 <課題 1> 色面による構成、作品の説明と作業の進め方について 第 2 回 構築物を形成するためのスケッチ 1 水張 第 3 回 構築物を形成するためのスケッチ 2 ベタ塗り 第 4 回 色と形の視覚的効果を考えながら構築物に彩色トレース、転写 第 5 回 <課題 2> 色の調子・素材・質感構成 第 6 回 文字、数字デッサン、デッサンから面を抽出する 第 7 回 絵の具の作る現象を採取 第 8 回 線で囲まれた面に注目し、採取した現象を詰め込む 第 9 回 素材の質感で表現する 質感を作り出す 質感のみによる平面を構成する 第 10 回 合評 第 11 回 <課題 3> 色の秩序(カラーシステム)に着目した平面構成 課題の説明 第 12 回 秩序の認識 第 13 回 秩序の表現 (秩序立った色の並びを作る練習) 第 14 回 秩序の表現 (原寸スケッチ) 第 15 回 課題完成、講評。

[備考] 成績評価法: 課題提出

授業科目名 : デザイン文化計画演習 I
 科目英訳名 : Culture of Design Seminar I (Lec & Lab)
 担当教官 : 宮崎 清, (大澤 浩一), (名取 通弘), (阿部 紘三)
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T069, T06A
 開講時限等: 2 年後期木曜 1 限後半 / 2 年後期木曜 2 限
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)		T1:工業意匠 A	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		

[講義目的] 文化としてのデザインの実践に関する今日的課題について、水辺空間のデザイン、形態の幾何学と力学、生活空間のデザインの視点より、各講師が論考する。講義では、デザインの実践例を中心に紹介し、これに付随したディスカッションならびに演習を行う。

[講義内容] 第 1 回: デザイン計画における文化の意味 (1)。 第 2 回: 水辺空間のデザイン (1) 環境保全とデザイン。 第 3 回: 水辺空間のデザイン (2) 自然環境アセスメント(植生)。 第 4 回: 水辺空間のデザイン (3) 自然環境アセスメント(景観)。 第 5 回: 水辺空間のデザイン (4) 水辺環境の保全とデザイン。 第 6 回: 構造体のデザイン (1) 自然形態のデザイン。 第 7 回: 構造体のデザイン (2) 人為形態のデザイン。 第 8 回: 構造体のデザイン (3) 空間形状の幾何学。 第 9 回: 構造体のデザイン (4) 空間形状の力学。 第 10 回: 生活空間のデザイン (1) 環境と人間の生活空間(国内)。 第 11 回: 生活空間のデザイン (2) 環境と人間の生活空間(国外)。 第 12 回: 生活空間のデザイン (3) 生活空間と民族性。 第 13 回: 生活空間のデザイン (4) 国際化のなかのデザイン。 第 14 回: デザイン計画における文化の意味 (2)。 第 15 回: テストまたはレポート。

[教科書・参考書] 講義の開始前に掲示にて指定する。

授業科目名 : 材料計画演習 I
 科目英訳名 : Materials Planning and Seminar I (Lec & Lab)
 担当教官 : 久保 光徳, 寺内 文雄
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T06B, T06C
 開講時限等: 2年後期水曜 1 限後半 / 2 年後期水曜 2 限
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室, 工 2 号棟 202 教室, 工 2 号棟 201 教室, 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			TF1:工業意匠 A	1997 年 専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		

[講義目的] 物理・化学的知識のみで理解される傾向にある [材料] を、[もの] を構成する造形材料、そして [ひと] の感性に影響を与える感性情報材料としてとらえなおし、使用レベルでの [材料] の本質的な特性を、「紙製造形物の制作」、および「材料に対するイメージの構造解析」等を通して体験させる。

[講義内容] 第 1 回 ガイダンス、グループ分け 第 2 回 教育用 CAD・CAM の基礎概念と操作方法の説明 第 3 回 3 D スキャナーによる形状の読み取りと CAD 操作 第 4 回 有限要素法による構造解析 (CAE 操作) 第 5 回 光造形機によるモデル制作 第 6 回 電子レポートの作成 第 7 回 電子レポートの作成 第 8 回 材料イメージ構造の解析と三次元モデルの制作 第 9 回 材料イメージ構造の解析と三次元モデルの制作 第 10 回 材料イメージ構造の解析と三次元モデルの制作 第 11 回 材料イメージ構造の解析と三次元モデルの制作 第 12 回 電子顕微鏡による材料表面の観察 第 13 回 天然有機材料を対象とした物理・化学実験 第 14 回 プレゼンテーション準備 第 15 回 プレゼンテーション

[備考] 準備品等は後日連絡

授業科目名 : 材料開発計画
 科目英訳名 : Design for Materials Development (Lec)
 担当教官 : (菊地 紀洋)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T06D
 開講時限等: 2 年後期月曜 4 限
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築					専門選択 (F30)

[講義目的] 新材料開発のための思考過程、方法、その実際等にわたる計画・立案に関する内容を講義する。特に、プラスチック材料の基礎物性から、改良、そして応用領域まで言及し、材料開発に関する最新の情報を提供する。また、加工技術について概説し、プラスチック製品の形態とその意味を説明する。

[講義内容] 第 1 回 材料開発とは何か, 第 2 回 プラスチック材料の基礎物性 (1), 第 3 回 プラスチック材料の基礎物性 (2), 第 4 回 プラスチック材料の改良 (1), 第 5 回 プラスチック材料の改良 (2), 第 6 回 プラスチック材料の応用領域, 第 7 回 各種複合材料開発の現状と応用製品例, 第 8 回 加工技術開発 (1), 第 9 回 加工技術開発 (2), 第 10 回 加工技術開発 (3), 第 11 回 加工技術開発 (4), 第 12 回 加工技術開発 (5), 第 13 回 プラスチック材料と環境問題, 第 14 回 材料開発と工業デザインの接点, 第 15 回 まとめ

[教科書・参考書] 授業時に指示する。

[備考] 成績評価法: テスト他

授業科目名 : 基礎デザイン論 II
 科目英訳名 : Theory of Design Fundamentals II (Lec)
 担当教官 : 堀田 明博
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T06E

開講時限等: 2年後期月曜1限
 講義室 : 工2号棟 202教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 生活環境デザインの基礎的知識としてデザインの基本的概念と、人間特性と生活環境を構成する製品や空間の特性との関係及びこれらに基づいたデザインプロセスについて理解する。更に、デザインにおける形態等の基本的構成原理に関する知識、また、デザインが社会的な活動という視点から、社会的問題とデザインとの関係を理解する。

[講義内容] 1. 本講義の概要、目標 2. デザインの概念、定義 3. デザインの対象とそのシステム 4. デザインにおける要求の種類とそのレベル 5. 具体的な要求表現とデザインの関係 6. 思考のメカニズムモデル 7. デザインのプロセス 8. デザインサーベイの目的と方法 9. デザインの発想方法 10. デザインに関係する人間要因 11. デザインと美術・工芸の関係 12. デザインと機能の関係 13. デザインと視覚リテラシ- 14. デザインと標準、安全性 15. 試験

授業科目名 : 造形デザイン演習・立体
 科目英訳名 : Sculpture (Lec & Lab)
 担当教官 : 瀧 徹, 田内 隆利
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T086, T087

開講時限等: 2年後期月曜2限後半 / 2年後期月曜3限
 講義室 : 工2 - 工房, 工2-アトリエ(2-601), 工2 - 工房, 工2-アトリエ(2-601)

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2002年	2001年	2000年	1999年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築			専門選択 (F30)	

[講義目的] 立体造形におけるデザイン力を、思考と手作業を連動させて習得することを目的とする。この演習では各種素材と人体塑像による立体感覚の習得により高度な造形デザイン力を養う。

[講義内容] 第1回 テーマ、素材、道具の説明 第2回 デッサンによりイメージをまとめる 第3回 分割した木を組み立て立体のイメージを掴む 第4回 素材の大きさ、構成と形の関係 第5回 全体の中でそれぞれの形の性質を見る 第6回 テーマおよびイメージの方向性、表現方法 第7回 バランスを考えた形の整理 第8回 イメージを組み立てながら細部の形を作る 第9回 完成、講評 第10回 クロッキー、鉛筆を使い線による表現、動感を大きくとらえる 第11回 クロッキー、コンテを使い量的な形を追う 第12回 同上 第13回 テラコッタ用粘土による制作 第14回 完成 第15回 窯にて素焼

授業科目名 : デザインシステム計画 I
 科目英訳名 : Design Systems Planning I (Lec)
 担当教官 : 杉山 和雄, 渡邊 誠
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T06F
 開講時限等: 2 年後期火曜 2 限
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T1:工業意匠 A	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		

[講義目的] デザイン企画の考え方やそのための情報分析, 具体的な計画に当たっての技術・要件のシステム論的扱い方などを、製品デザイン解析を応用しながら実例によって考察する。

[講義内容] 第 1 回 ガイダンス 第 2 回 デザインにおけるシステムとは 第 3 回 企業におけるデザイン部門
 第 4 回 デザインにおけるマネージメント 第 5 回 デザインプロセス 1 第 6 回 デザインプロセ
 ス 2 第 7 回 デザインと CAD 第 8 回 商品ラインナップとデザイン 1 第 9 回 商品ラインナッ
 プとデザイン 2 第 10 回 モデルチェンジとデザイン 第 11 回 公共物とデザイン 1 第 12 回 公
 共物とデザイン 2 第 13 回 ユーザーインターフェイスデザイン 1 第 14 回 ユーザーインターフェ
 イスデザイン 2 第 15 回 試験

授業科目名 : 製品デザイン演習 I
 科目英訳名 : Product Design I (Lab)
 担当教官 : 永田 喬, 釜池 光夫, 長尾 徹, (中村 一章), (貝崎 勝), (吉丸 卓志)
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T070, T071
 開講時限等: 2 年後期火曜 4 限 / 2 年後期火曜 5 限前半
 講義室 : 工 1-401 (デザイン実習室), 工 2-アトリエ
 工 (2-601), 工 1-401 (デザイン実習室),
 工 2-アトリエ (2-601)

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択 (F30)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 製品デザインの基礎な能力を, 具体的な演習課題を通して学習する。すでに学んだデザイン表示スキルをデザイン思考に統合させ、あわせてデザインプロセスを演習して作品を制作する。・簡単な製品のデザインと情報機器のインターフェイスデザインを行う。・演習は 3 グループに分けて行い、作品は最終回に展覧会の形式にて展示・発表する。・デザイン表示スキルを向上させるため、即日課題を数回行う。

[講義内容] 第 1 回 オリエンテーション (課題の発表とグループ分け) 第 1 課題「簡単な製品のデザイン」開始および即日課題 1 第 2 回 アイデアの展開および即日課題 2 第 3 回 アイデアの検討および即日課題 3
 第 4 回 アイデアの収束 第 5 回 中間プレゼンテーション 第 6 回 アイデアの再検討 第 7 回
 作品の表示 (製品コンセプト、スケッチをレポート形式で仮提出する。) 第 8 回 第 2 課題「簡単な情報
 機器とそのインタフェース・デザイン」課題の概略説明と質疑 第 9 回 ハードウェアとソフトウェア
 分析と可能性の展開と限界 第 10 回 アイデアの展開 第 11 回 アイデアの展開、深化と構造化 第
 12 回 アイデアの検討、評価と修正 第 13 回 アイデアの収束 第 14 回 作品の表示 第 15 回 展
 示・発表

授業科目名 : 製品人間工学
 科目英訳名 : Products Ergonomics (Lec)
 担当教官 : 勝浦 哲夫, 岩永 光一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T072
 開講時限等: 2年後期月曜 5 限
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 使いやすい機器をデザインするためには人間の身体構造・機能の理解が必要である。特に身体運動の基礎となる神経筋機能、循環機能を中心にキネシオロジーに関する講義を行う。また、機器やインタフェースにおけるエルゴデザインの事例を紹介し、解説するとともに、デザイン評価としての人間工学の実験計画の基礎についても解説する。

[講義内容] 第1回 序論:製品人間工学とはなにか 第2回 手の働きと製品デザイン 第3回 製品人間工学の実例(1) 第4回 製品人間工学の実例(2) 第5回 筋の構造と筋収縮(1) 第6回 筋の構造と筋収縮(2) 第7回 筋活動の測定と評価 第8回 製品人間工学の実例(3) 第9回 製品人間工学の実例(4) 第10回 インタフェースデザインと人間工学(1) 第11回 インタフェースデザインと人間工学(2) 第12回 人間工学における実験計画法(1) 第13回 人間工学における実験計画法(2) 第14回 人間工学における実験計画法(3) 第15回 期末テスト

[教科書・参考書] 「身体の機能と構造計測マニュアル」垣鏑・勝浦・山崎訳、文光堂。「環境人間工学」佐藤方彦・勝浦哲夫著、朝倉書店。

[備考] 受け入れ人数: 90名以内 成績評価法: テスト他

授業科目名 : デザイン文化計画演習 II
 科目英訳名 : Culture of Design Seminar II (Lec & Lab)
 担当教官 : 宮崎 清, 朴 燦一
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T073, T074
 開講時限等: 3年前期金曜 1 限後半 / 3年前期金曜 2 限
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築					専門選択 (F30)

[講義目的] 地域社会におけるデザイン文化諸相を近隣地域におけるフィールド・サーベイをとおして把握・解析する。得られた知見を社会に向けたデザイン提案としてまとめる。また、夏期休業中には1週間程度、学外におけるフィールド・サーベイを実施する。

[講義内容] 第1回: 地域社会における自然との共生のデザイン。 第2回: 地域社会における資源の利活用のデザイン。 第3回: 地域社会におけるアノニマス・デザイン。 第4回: 地域社会における環境・景観形成のデザイン。 第5回: 調査地の地理的・産業的・文化的概要の把握。 第6回: テーマ設定と調査計画の検討。 第7回: 調査項目の検討。 第8~11回: 調査地におけるフィールド・サーベイの実施。 第12回: 調査地におけるフィールド・サーベイのまとめ。 第13回: フィールド・サーベイに基づくデザイン提案の検討。 第14回: 調査地における報告会の開催。 第15回: フィールド・サーベイを通じたデザイン文化計画の展望。

[教科書・参考書] 授業のなかで紹介する。

授業科目名 : 人間工学演習 I
 科目英訳名 : Experiments on Ergonomics I (Lec & Lab)
 担当教官 : 勝浦 哲夫, 岩永 光一, 下村 義弘, (垣鏑 直), (下条 誠), (菊池 吉晃), (富岡 慶)
 単位数 : 5.0 単位
 履修登録コード: T075, T076, T077
 開講時限等: 3 年前期月曜 3 限後半 / 3 年前期月曜 4,5 限
 講義室 : 工 2 号棟 102 教室, 工 2 号棟 103 教室, 工 2 号棟 102 教室, 工 2 号棟 103 教室, 工学部, 工 2 号棟 103 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 人間工学的デザインに関する講義・実験を行い、測定手法、解析手法等を実践的に学習する。演習内容としては、使いやすさや生体の負担を少なくすることを目的とした人間工学的演習を行う。

[講義内容] 4 つにグループ分けし、それぞれ 4 つのテーマについて実験、解析、パネル作成および研究発表を行う。
 第 1 回 実験概要の説明 第 2 回 製品人間工学に関する研究-1 第 3 回 製品人間工学に関する研究-2
 第 4 回 製品人間工学に関する研究-3 第 5 回 インターフェースに関する研究-1 第 6 回 インターフェースに関する研究-2
 第 7 回 インターフェースに関する研究-3 第 8 回 環境人間工学に関する研究-1
 第 9 回 環境人間工学に関する研究-2 第 10 回 環境人間工学に関する研究-3 第 11 回 認知科学に関する研究-1
 第 12 回 認知科学に関する研究-2 第 13 回 認知科学に関する研究-3
 第 14 回 研究発表会 第 15 回 研究発表会

[教科書・参考書] 「身体の機能と構造計測マニュアル」垣鏑・勝浦・山崎訳、文光堂。「環境人間工学」佐藤方彦・勝浦哲夫著、朝倉書店。「マンマシン・インターフェイス」佐藤方彦編、朝倉書店。

[備考] 成績評価法：出席、態度、プレゼンテーション

授業科目名 : 材料計画演習 II
 科目英訳名 : Materials Planning and Seminar II (Lec & Lab)
 担当教官 : 青木 弘行, (松岡 由幸), (山中 敏正)
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T078, T079
 開講時限等: 3 年前期月曜 1 限後半 / 3 年前期月曜 2 限
 講義室 : 工 2 号棟 102 教室, 工 2 号棟 103 教室, 工 2 号棟 102 教室, 工 2 号棟 103 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] デザイン材料に要求される性能と使われ方との関係を理論および演習の両側面から検討し、材料計画に対する総合的解析能力を養う。具体的には、[材料と感性との関わり]、[デザイン解としての材料と構造・形態との最適な関係] 等について、その考え方、理論、そして取り組み方を演習によって体験する。

[講義内容] 以下に示す課題を行い、ポートフォリオとして視覚化する。(1) 製品の使われ方の調査から使い方を設計し、それをデザインへと展開する方法を検討する。(2) 製品が有する材料特性を解析し、そこから得られた知見を活用して新製品の提案を行う。(3) 人工素材で造られた観葉植物、建築材料、展示用食品サンプル等の価値分析を行い、イミテーション材料の意味と今後の可能性について検討する。(4) 製品の分解過程を体験し、材料活用や解体容易化設計のあり方を検討する。

[備考] 準備品等は後日連絡

授業科目名 : デザインシステム計画演習 I
 科目英訳名 : Design Systems Planning I (Lab)
 担当教官 : 杉山 和雄, (國澤 好衛)
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T07C, T07D
 開講時限等: 3 年前期金曜 3 限 / 3 年前期金曜 4 限前半
 講義室 : 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室,
 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 生活システム、社会システムとそれぞれの領域で必要とされるシステム製品との関係を考察し、新しいコンセプトを創造し、具体的なデザインテーマを設定して、解析と造形と設計とを一貫した演習を行う。

[講義内容] 第 1 回 ガイダンス 第 2 回 コンセプト開発とデザイン 第 3 回 技術の発展予測とデザイン
 第 4 回 コンセプト開発テーマの選定 第 5 回 ライフカタログとしての編集作法 第 6 回 生活文化
 研究 第 7 回 テーマ別(個人別)討議 第 8 回 システムのデザインの歴史 第 9 回 極小の探求
 第 10 回 デザイン図面の作成 第 11 回 設計図面、調査資料などの提出 第 12 回 モックアップの
 作成 第 13 回 モックアップの提出 第 14 回 実現性の検討 第 15 回 プレゼンテーション

授業科目名 : 製品デザイン演習 II
 科目英訳名 : Product Design II (Lab)
 担当教官 : 永田 喬, 釜池 光夫, 長尾 徹, (宮城 壮太郎), (岡本 寛之), (阿久津 雄一)
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T07E, T07F
 開講時限等: 3 年前期木曜 2 限 / 3 年前期木曜 3 限前半
 講義室 : 工 1-401 (デザイン実習室), 工 2-アトリ
 工 (2-601), 工 1-401 (デザイン実習室),
 工 2-アトリエ (2-601)

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 1 : 第 1 課題 : 具体的な機器の設計を通じて、製品デザインのプロセスおよび造形力を学習する。2 : 第 2 課題 : 専門的な講師により、企業における実践的かつ今日的な製品のデザインを行う。3 : 課題の提出は授業終了時とし、プレゼンテーション形式で行う。

[講義内容] 第 1 回 オリエンテーション(課題の発表とグループ分け) 第 1 課題「具体的な機器デザイン」
 第 2 回 アイデアの展開・資料収集 第 3 回 アイデアの検討・資料解析 第 4 回 アイデアの収束
 第 5 回 中間プレゼンテーション 第 6 回 アイデアの再検討 第 7 回 作品の表示(製品コンセプト、
 スケッチをレポート形式で仮提出する。) 第 8 回 第 2 課題は A : プロダクト、B : 照明器具、C : インタ
 フェースの内 1 つを選択 課題の概略説明と質疑作品の表示 第 9 回 ハードウェアとソフトウェア分
 析と可能性の展開と限界 第 10 回 アイデアの展開 第 11 回 アイデアの展開、深化と構造化 第 12
 回 アイデアの検討、評価と修正 第 13 回 アイデアの収束 第 14 回 作品の表示 10 回 第 15 回
 プレゼンテーション

授業科目名 : 環境デザイン演習 I
 科目英訳名 : Environmental Design I (Lec & Lab)
 担当教官 : 清水 忠男
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T080, T081
 開講時限等: 3 年前期金曜 4 限後半 / 3 年前期金曜 5 限
 講義室 : 工 1-401 (デザイン実習室)

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		専門選択必修 (F20)		T1:工業意匠 A	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TF4:デザイン A 建築		専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				

[講義目的] 環境を形成する製品や空間と人間のかかわり方を調査・考察し、室内空間とそこで用いられる家具・什器のデザインの手がかりとする。また、具体的な演習課題を通して、生活環境デザインの基本的な手法やプロセスを習得する。

[講義内容] 第 1 回 講義:居心地のよい生活環境とは何か 第 2 回 講義:室内空間と家具・什器とのかかわり
 第 3 回 課題 1 の発表と講評 第 4 回 講義:床坐と椅子坐のはざままで 第 5 回 講義:家具デザインにおける素材と技術・
 第 6 回 講義:家具デザインにおける素材と技術・ 第 7 回 課題 2 の発表と講評 第 8 回 講義:住宅設計の現場から
 第 9 回 課題 3 の作業/相談 第 10 回 課題 3 の作業/相談 第 11 回 課題 3 の発表と講評 第 12 回 課題 4 の作業/相談
 第 13 回 課題 4 の作業/相談 第 14 回 課題 4 の発表と講評 第 15 回 全課題のまとめの最終発表と講評

[履修条件] 毎回、与えられたテーマに関するコメントを出席票を兼ねた用紙に記入して提出。出席数が 10 回に満たない場合、また、課題の一部でも提出されなかった場合は、原則として単位は与えられない。成績評価は、各課題の成績と、各回に提出されたコメントの内容、出席状況を総合して行う。

[教科書・参考書] 必要に応じて、指示や紹介を行う。

授業科目名 : デザイン心理学演習 I
 科目英訳名 : Design Psychology I (Lec & Lab)
 担当教官 : 日比野 治雄, デ工 (建築) 専任未定
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T082, T083
 開講時限等: 3 年前期火曜 3 限 / 3 年前期火曜 4 限前半
 講義室 : 工 2 号棟 101 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 我々人間の身の回りに存在するあらゆるもののデザインを受容するのは人間である。この自明の事実
 に注目すれば、人間の行動や心理の特性について深く考察することは、より良いデザインを指向する上で、極めて重要な意味を持っていることが分かるであろう。本科目では、このような視点から、人間とデザインとの
 関わりに対する心理学的なアプローチについて学んで行く。

[講義内容] 以下のような内容について、演習形式で学ぶ機会を設ける:人間の知覚の基礎(知覚とはどのような
 ものかについて、多角的に考える);「見る」とは?(視覚系の生理学的側面およびその心理学的側面);形の知
 覚(「かたち」の知覚、図と地など);色の知覚(色彩を知覚する能力、色彩に対する心理的反応など);デザ
 イン心理学の基礎(デザインを心理学の観点から捉える);その他 学生自身が学んだ成果をプレゼンテーショ
 ンを通じて発表する場も設ける。・上記の講義内容は都合により変更されることもある。

[履修条件] 色彩科学を履修していること。また、毎回出席することが前提である(遅刻・欠席厳禁!!)。

[教科書・参考書] 美と造形の心理学(北大路書房)

[備考] 受け入れ人数:40人程度 成績評価方法:課題および発表

授業科目名 : 造形デザイン演習・平面
 科目英訳名 : Tableau (Lec & Lab)
 担当教官 : 堀田 明博, 瀧 徹, 田内 隆利, (小林 基輝)
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T084, T085

開講時限等: 3 年前期木曜 4 限 / 3 年前期木曜 5 限前半
 講義室 : 工 版画工房 (T2-104), 工 2 - 工房, 工 版画工房 (T2-104), 工 2 - 工房

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度 1997 年
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)				TF1:工業意匠 A	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)		

[講義目的] 平面空間における造形デザインの計画力、構成力及び表現力を、具象的なモチーフ、抽象的なモチーフを通して習得することを目的とする。また、表現にはコンピュータ、版画手法を用いるが、その制作手法の違いによる表現結果の特性を理解することも目的である。

[講義内容] 1. 演習の目的及び課題の概要、制作方法、道具等の説明 2. 第1課題(人物の表現)の素描、下絵制作 3. 同上 4. エッチングによる制作 5. 同上 6. 第2課題(対の意図の表現)の素描、下絵制作 7. 同上 8. 平版画技法による制作 9. 同上 10. 第2課題の Mac による下絵バリエーションの制作 11. 同上 12. 自由に加筆制作 13. 同上 14. 版画専門用紙への刷り 15. 講評、採点

[履修条件] 2 年次で基礎デザイン論 II を履修していることが望ましい。

授業科目名 : 生活デザイン造形演習
 科目英訳名 : Forming for Living Design (Lec & Lab)
 担当教官 : 堀田 明博, 田内 隆利
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T07A, T07B

開講時限等: 3 年前期水曜 1 限 / 3 年前期水曜 2 限前半
 講義室 : 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室, 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 種々の身体特性をもつユーザと生活における製品・空間使用との関係で生じる問題発見能力を、イメージスケッチ等絵画作業で養い、これを平面造形及び立体造形として解決する能力を身につける。また同時にこれらの解決案を視覚的表現によって伝達するための絵画描写力等を身につける。

[講義内容] 1. 授業目的の説明 2. 第1課題のデザインコンセプトをイメージスケッチで抽出 3. 絵画作業等で検討 4. 同前 5. 平面・立体プレゼンテーション 6. 第2課題の説明 7. デザインコンセプトをイメージスケッチで抽出 8. 絵画作業等で検討 9. 同前 10. 平面・立体プレゼンテーション 11. 第3課題の説明 12. インフォメーションシステムの調査 13. デザインコンセプトをイメージスケッチで抽出 14. 絵画作業等で検討 15. 平面・立体プレゼンテーション

[履修条件] 2 年次で基礎デザイン論 II を履修していること。

授業科目名 : 環境デザイン演習 II
 科目英訳名 : Environmental Design II (Lec & Lab)
 担当教官 : 清水 忠男
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T088, T089
 開講時限等: 3 年後期金曜 4 限後半 / 3 年後期金曜 5 限
 講義室 : 工 1-401 (デザイン実習室)

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 公共空間における人々の行動や意識の調査をもとに、公共施設や商業施設、それらの周辺環境のあり方を考察する。また、具体的な演習課題をチームによって推進することを通して、公共環境デザインの基本的な手法やプロセスを習得する。

[講義内容] 第 1 回 講義: 公共空間に人は何を求めるか 第 2 回 講義: 公共空間デザインの概要 第 3 回 現地予備調査 第 4 回 予備調査の報告と講評 第 5 回 基本コンセプトの作成 第 6 回 基本コンセプトの発表と講評 第 7 回 現地本調査 第 8 回 現地本調査をふまえた基本デザインの作成 第 9 回 基本デザインの発表と講評 第 10 回 講義: 公共空間デザインの現場から 第 11 回 提案デザインの作成 第 12 回 提案デザインの中間発表と講評 第 13 回 提案デザインの作成 第 14 回 提案デザインの作成 第 15 回 提案デザインの最終発表と講評

[履修条件] 毎回、与えられたテーマに関するコメントを出席票を兼ねた用紙に記入して提出。出席数が 10 回に満たない場合、また、チーム作業への貢献度が極めて低い場合は、原則として単位は与えられない。成績評価は、チーム全体の成果に対する評価とチーム作業への貢献度、各回に提出された個人のコメントの内容、出席状況を総合して行う。

[教科書・参考書] 必要に応じて、指示や紹介を行う。

授業科目名 : 生理人類学
 科目英訳名 : Physiological Anthropology (Lec)
 担当教官 : 勝浦 哲夫, 岩永 光一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T08A
 開講時限等: 3 年後期火曜 2 限
 講義室 : 工 2 号棟 101 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] デザインにおいて人間の機能とその特性を把握しておくことは重要である。人間工学領域における基礎的かつ最新の研究方法とその応用例や問題点を取り上げ、人間の進化や環境への適応をも踏まえたデザインの在り方について講義する。

[講義内容] 第 1 回 人類の進化・技術文明社会と生理人類学 第 2 回 人間の中枢神経系の構造と機能(1)
 第 3 回 人間の中枢神経系の構造と機能(2) 第 4 回 人間の高次神経活動からみた快適性(1) 第 5 回 人間の高次神経活動からみた快適性(2) 第 6 回 人間特性としての疲労 第 7 回 疲労の評価手法 第 8 回 生理人類学とデザイン 第 9 回 人工環境と自然環境 第 10 回 温熱環境と人間(1)
 第 11 回 温熱環境と人間(2) 第 12 回 温熱環境と人間(3) 第 13 回 光環境と人間(1)
 第 14 回 光環境と人間(2) 第 15 回 期末テスト

[教科書・参考書] 「環境人間工学」佐藤方彦・勝浦哲夫著、朝倉書店、「最新生理人類学」佐藤方彦編、朝倉書店。

[備考] 成績評価法: テスト他

授業科目名 : 材料計画演習 III
 科目英訳名 : Materials Planning and Seminar III (Lec & Lab)
 担当教官 : 青木 弘行, 久保 光徳, 寺内 文雄
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T08B, T08C
 開講時限等: 3年後期木曜 4 限後半 / 3 年後期木曜 5 限
 講義室 : 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] デザイン材料に関連した諸問題をグル - プ作業を通して考察、検討する。得られた成果はビジュアルな媒体にまとめて発表・討論会を行い、最終成果物を報告書として制作する。特に、グループ作業を通しての意見交換、およびそれらの整理・統合、そしてプレゼンテーションへのアプローチの体験を重視する。

[講義内容] 第 1 回: 主旨説明と前年度までの成果概説、 第 2 回: デザイン材料に関連した諸問題の抽出、
 第 3 回: 提起された問題に対する解決策の視点と論点に関する講義、 第 4 回: 問題解決策の検討、 第 5 回: 検討内容の構造的に整理とメインテーマ、サブテーマの階層化、 第 6 回: 問題解決の視点・論点を再検討、 第 7 回: 問題解決策の構造明確化、 第 8 回: サブテーマごとでの検討作業、 第 9 回: 同上、 第 10 回: 中間発表、 第 11 回: 問題解決策の検討、 第 12 回: 発表・討論会準備、 第 13 回: 発表・討論会、 第 14 回: 報告書の構想検討、 第 15 回: 報告書作成

[教科書・参考書] 授業時に指示する。

授業科目名 : デザインシステム計画 II
 科目英訳名 : Design Systems Planning II (Lec)
 担当教官 : 杉山 和雄, 渡邊 誠
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T08D
 開講時限等: 3 年後期火曜 5 限
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 製品デザインの企画・デザインプロセスにおいて必要な情報の収集とその分析方法について多角的な講義を行う。デザインにおけるデータの種類と質の理解、さらにはその解析方法について習得するとともに、今後のデザインシステムに必要なシステム化の方法についての講義を行う。

[講義内容] 第 1 回 オリエンテーション 第 2 回 デザイン解析の利用法 第 3 回 デザインにおけるデータ
 第 4 回 データの構築法 第 5 回 構造化の方法 1 第 6 回 構造化の方法 2 第 7 回 構造化の
 方法 3 第 8 回 構造化の方法 4 第 9 回 構造化の方法 5 第 10 回 構造化の方法 6 第 11 回
 評価の方法 1 第 12 回 評価の方法 2 第 13 回 システム化の方法 1 第 14 回 システム化の方法
 2 第 15 回 試験

授業科目名 : デザインシステム計画演習 II
 科目英訳名 : Design Systems Planning II (Lab)
 担当教官 : 渡邊 誠, 釜池 光夫, (和田 精二)
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T08E, T08F, T090
 開講時限等: 3 年後期金曜 3,4,5 限
 講義室 : 工 1-401 (デザイン実習室), 工 2-アトリエ (2-601), 工 1-401 (デザイン実習室), 工 2-アトリエ (2-601), 工 1-401 (デザイン実習室), 工 2-アトリエ (2-601)

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 生活関連機器や輸送機器等から具体的テーマを設定し、製品デザインの一連のプロセスを具体的な作業を通して体得する。デザインコンセプトの作成、デザインの解析と再構成、さまざまな環境を含めた計画等から造形及びプレゼンテーションに至るまでの一貫した演習を行う。

[講義内容] 第1回 ガイダンス 第2回 テーマの選定・現状および問題点の把握 第3回 ブレインストーミングによる問題点の整理 第4回 デザインコンセプトの作成 第5回 デザイン展開1 第6回 デザイン展開2 第7回 デザイン展開3 第8回 アイデアの絞り込み 第9回 中間プレゼンテーション 第10回 レンダリング完成 第11回 モデル作成1 第12回 モデル作成2 第13回 モデル作成3 第14回 プレゼンテーション準備 第15回 プレゼンテーション

授業科目名 : デザイン心理学演習 II
 科目英訳名 : Design Psychology II (Lec & Lab)
 担当教官 : 日比野 治雄, デ工(建築)専任未定
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T091, T092
 開講時限等: 3 年後期火曜 3 限 / 3 年後期火曜 4 限前半
 講義室 : 工 2 号棟 101 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] デザイン心理学演習 I で修得した基礎知識を踏まえた上で、さらにデザイン心理学について深い知識を身につけることを目的とする。実際に、心理学的な視点からデザインを捉えるような課題を体験的に行い、デザイン心理学の研究を身近なものとして捉え直すとともに、卒業研究の方向付けまでを目標としたい。主として、色彩に関する問題を扱う。

[講義内容] 以下のような内容について、演習形式で学ぶ機会を設ける: デザイン心理学とは(心理学的な考え方とはどのようなものか); デザイン心理学の基礎と応用(デザインを心理学的視点から捉える); 形の知覚(形の知覚の応用); 色の知覚(色の知覚に関する諸問題); カラーコーディネイトに関連する問題(検定試験に関連する問題について学ぶ予定) 学生自身が学んだ成果をプレゼンテーションを通じて発表する場も設ける。上記の講義計画は、都合により変更されることもある。

[履修条件] デザイン心理学演習 I および色彩科学を履修していること。また、毎回出席することが前提である(遅刻・欠席厳禁!!)。

[教科書・参考書] 詳細については第1回の講義の際に伝える。

[備考] 受け入れ人数: 40人程度 成績評価方法: 課題および発表

授業科目名 : 展示デザイン演習
 科目英訳名 : Display Design(Lec&Lab)
 担当教官 : 佐藤 公信, (鈴木 恵千代)
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T093
 開講時限等: 3年後期水曜1限 / 3年後期水曜2限前半
 講義室 : 工1-401(デザイン実習室)

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF4:デザイン A 建築			専門選択 (F30)		

[講義目的] 伝達・訴求機能を主目的として空間を演出するディスプレイ(展示)デザインの特性を認識し、計画上の構成要素について基本的な諸問題を考察する。また、課題を通し具体的なデザイン手法に関して造詣を深める。

[講義内容] ・空間デザインの実例とデザインプロセスについて・ゾーニング 平面プランの考え方・アイデアの展開・表現手法について・課題1 商業施設の企画・デザイン・課題2 コミュニケーションスペースにおける展示計画・プレゼンテーション及び講評

授業科目名 : 人間工学演習 II
 科目英訳名 : Experiments on Ergonomics II (Lec & Lab)
 担当教官 : 勝浦 哲夫, 岩永 光一, 下村 義弘
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T0A1, T0A2
 開講時限等: 4年前期火曜1限後半 / 4年前期火曜2限
 講義室 : 各研究室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 人間の生理心理機能測定法、例えば発汗測定法、血流量測定法、心拍出量測定法、皮膚電位水準測定法、心拍変動測定法、脳波測定法などに関して理解を深め、快適な作業空間や環境を求めるための評価実験を行い、測定手法、解析手法等を実践的に学習する。

[講義内容] 第1回 実験概要の説明 第2回 発汗測定法 第3回 血流量測定法 第4回 心拍出量測定法 第5回 皮膚電位水準測定法 第6回 心拍変動測定法 第7回 脳波測定法 第8回 実験 第9回 実験 第10回 実験 第11回 実験 第12回 実験 第13回 解析 第14回 解析 第15回 実験結果発表会

[履修条件] 人間工学演習履修者

[教科書・参考書] 「身体の機能と構造計測マニュアル」垣舘・勝浦・山崎訳、文光堂。「環境人間工学」佐藤方彦・勝浦哲夫著、朝倉書店。「マンマシン・インターフェイス」佐藤方彦編、朝倉書店。「心理生理学」J.L. アンドレアッシ著、ナカニシヤ出版

[備考] 成績評価法: 出席、態度、解析他

授業科目名 : 音響デザイン演習
 科目英訳名 : AcousticsDesign (Lec. and lab.)
 担当教官 : 佐藤 公信
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T09F, T0A0
 開講時限等: 4 年前期水曜 3 限 / 4 年前期水曜 4 限前半
 講義室 : 工 1-401 (デザイン実習室)

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		専門選択必修 (F20)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[講義目的] 音が持つコミュニケーション手段としての有効性を、様々な視点から考察し、音響デザインの役割と方法を考える。

[講義内容] 第1回 オリエンテーション 第2回 技術と音響 音の成立、音の物理特性 第3回 聴覚と音響 聞こえる音・聞こえない音、他の感覚との相互作用 第4回 メディアとしての音の役割 (1) 歴史的考察 蓄音機からヴァーチャルリアリティまで 第5回 メディアとしての音の役割 (1) 歴史的考察 音の記号論 第6回 人間行動と音情報 信号音、マン・マシンインタフェース 第7回 アートの中の音 サウンドインスタレーション、音響彫刻、音楽と音響デザイン 第8回 音をデザインする (1) 音のデザイン 音を作り、加工する技術 第9回 音をデザインする (2) 音響デザイン 空間音響計画、空間演出 第10回 音をデザインする (3) 音環境デザイン 騒音、サウンドスケープ・デザイン、環境音楽 第11回 コンピュータミュージック M I D I インタフェースと電子楽器 第12回 音響デザインの実例「場」をつくる音響デザイン 第13回 音を見つける / サウンド・ウォーク 千葉大学キャンパス内の音を体験する レポート提出 第14回 レポート発表 ディスカッション 第15回 まとめ

授業科目名 : 学外実習
 科目英訳名 : Extracurricular Activity
 担当教官 : デ工(意匠系)各教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T094
 開講時限等: 3,4 年通期集中
 講義室 : 未定(工学部)

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 本実習の目的は、大学での講義および実習をとおして身につけたデザイン技術に関する能力を、実社会において具体的にどのように応用するか、また、大学では学べないデザイン実務等に関する体験を身につけることを目的とする。

[講義内容] 本実習は授業等の休業期間中にを利用して、学外の企業等の組織において実務を体験する。期間、実習内容等は学外の組織と本学科と調整の上で決定されるため、定常的に本実習が行われるわけではない。希望者は事前に学年担当教官に申し出て、その指導・指示に従うこと。

[備考] 3・4年次に履修

授業科目名 : メディアデザイン演習 I
 科目英訳名 : Communications Media Design I (Lec & Lab)
 担当教官 : 宮崎 紀郎, (大橋 透), (木村 博之)
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T095, T096
 開講時限等: 2年後期水曜 3 限 / 2年後期水曜 4 限前半
 講義室 : 工 1-401 (デザイン実習室)

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)				T1:工業意匠 A	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		

[講義目的] ビジュアルコミュニケーションデザインに関する基礎的な課題製作を通じ、映像メディアを含む情報とその表現形態のかかわりについて学ぶ。

[講義内容] 第1回 <課題3> カレンダーの企画制作 各自カレンダーの用途、形式などのコンセプト建てをすることから、さまざまなレベルの情報と表現について実感する。 第2回 いろいろなタイプのカレンダーを見る。 課題制作: アイデアスケッチ 第3回 カレンダーの企画制作プロセス。 課題制作: 原寸ラフスケッチ 第4回 カレンダーの傾向。 課題制作: 色彩つき原寸スケッチ 第5回 作品発表(プレゼンテーション) 講評。 第6回 <課題2> インフォメーショングラフィックス 課題の説明 第7回 テーマの確定。スケッチ。 第8回 構成要素を整える。原寸スケッチ。全体像の把握。 第9回 原寸色彩スケッチ。全体像の確認。 第10回 課題完成、講評。 第11回 <課題3> エディトリアルデザイン「先生インタビュー」編集者、コピーライター、フォトグラファーなど、一人何役かをやってもらいます。先生の姿を的確にかつ興味深く紹介してください。 第12回 テーマの確定。スケッチ。 第13回 構成要素を整える。原寸スケッチ。全体像の把握。 第14回 原寸色彩スケッチ。全体像の確認。 第15回 課題完成、講評。

[備考] 成績評価法: 課題提出

授業科目名 : CG演習
 科目英訳名 : Computer Graphics (Lec & Lab)
 担当教官 : 玉垣 庸一, (大平 智弘)
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T097, T098
 開講時限等: 2年後期水曜 4 限後半 / 2年後期水曜 5 限
 講義室 : 工 1-401 (デザイン実習室)

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		専門選択 (F30)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		

[講義目的] コンピュータによる画像生成に関連した基礎的な課題製作を通じ、数理的手順による造形方法を習得する。

[講義内容] 第1回 CG理論で学んだ内容との関係について説明 第2回 課題「アニメーションの制作」の説明 第3回 グループ分け 実例(静止画)によるプログラミング言語の説明 第4回 形状記述の説明 第5回 形状データ作成 色の記述方法RGB、CMY、HSV、HKWの説明 第6回 形状データの作成 階層型シーン記述(シーングラフ)の説明 第7回 形状データの作成 実例(データ組み込み型の動画)によるプログラミング言語の説明 第8回 形状データの作成 シーンファイルの説明 個人課題とグループ課題の説明 第9回 形状データ、シーンファイルの作成 実例(シーンファイル入力型の動画)によるプログラミング言語の説明 第10回 形状データ、シーンファイルの作成と動作確認作業 シーンファイル入力部分のプログラミング説明 第11回 形状データ、シーンファイルの作成と動作確認作業 動作部分のプログラミングの説明 第12回 個人課題の提出、グループ課題の動作確認作業 第13回 個人課題の講評 第14回 グループ課題の最終仕上げ 第15回 グループ課題の講評

[履修条件] CG理論を履修済みであること

授業科目名 : デジタルデザイン論
 科目英訳名 : Theory of Digital Design (Lec)
 担当教官 : (大平 智弘)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T099

開講時限等: 3 年前期金曜 5 限
 講義室 : 工 2 号棟 103 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] 制作手順の客観的な記述の上に成り立つデジタルデザインが、定規・コンパスなどによる手作業とは本質的に異なるものであることを理解し、今後のデザインプロセスにその数理的な性格を積極的に活用していくことを目指す。

[講義内容] 第 1 回 オリエンテーション 授業の進め方 第 2 回 デジタルデザインとは 第 3 回 デジタルデザインの現状 1 第 4 回 デジタルデザインの現状 2 第 5 回 造形のプロセス 第 6 回 数理造形 1 形・モデル・構造、そして造形ルールの発見 第 7 回 数理造形 2 形状記述と生成手続きの記述 第 8 回 2 次元 CG と 3 次元 CG 第 9 回 デジタルイメージの認知、処理、生成 第 10 回 工業デザインにおけるデジタルイメージの展開 第 11 回 ビジュアルコミュニケーションデザインにおけるデジタルイメージの展開 第 12 回 デジタルデザインによる生産プロセス 1 第 13 回 「もの」のデザインから「こと」のデザインへ 第 14 回 ポスト CAD としてのコンピュータデザイニクス 第 15 回 試験

授業科目名 : メディアデザイン演習 II
 科目英訳名 : Communications Media Design II (Lec & Lab)
 担当教官 : 宮崎 紀郎, 小原 康裕, (塩谷 徹)
 単位数 : 3.0 単位
 履修登録コード: T09A, T09B

開講時限等: 3 年前期火曜 1 限後半 / 3 年前期火曜 2 限
 講義室 : 工 1-401 (デザイン実習室), 工 2 号棟 103 教室, 工 1-401 (デザイン実習室), 工 2 号棟 103 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[講義目的] ビジュアルコミュニケーションデザインにおける各種媒体(映像メディア、紙メディアを含む)について、それぞれのコミュニケーションの考え方から実際の制作に至るプロセスを学び、課題制作を行なう。

[講義内容] 第 1 回 <課題 1> 広告コミュニケーション 個人課題テーマ: サムネール制作 グループ課題テーマ: 雑誌広告制作 TV 広告・新聞広告・雑誌広告・交通広告・チラシ広告・屋外広告などの媒体特性と効果的な表現について事例を紹介しながら講義。 第 2 回 個人課題演習(1)と講評 第 3 回 個人課題演習(2)と講評 第 4 回 グループ課題演習 第 5 回 グループ課題講評 第 6 回 <課題 2> ビジュアルキャンペーン キャンペーンのテーマは、社会的な問題(といて必ずしも大問題でなくてよい)とし、商品キャンペーン避ける。例えば、「新聞を読むことのすすめ」、「南棟における空き缶回収案」など、自分の関心が大きくこれは主張したいと思うことがらを選ぶ。 第 7 回 問題の状況の調査キャンペーンコンセプトづくり 第 8 回 媒体の決定問題を認識させる(訴求対象者に)ための構成表現コンセプトづくり 第 9 回 表現要素(コピー、イラストレーション、マーク、ロゴタイプなど)の制作、原寸色彩スケッチ 第 10 回 本制作 第 11 回 <課題 3> WEB サイトの制作 ・インターネット公開を前提とした WEB サイトの構築する。 ・<課題 1> <課題 2> で制作した広告、キャンペーンなどを WEB 上で展開する。 ・HTML の基本文法、インターネットのもつメディア特性に対する理解を深める。 インターネットについて(講義) 第 12 回 アイデアの展開 トップページのキャンピングの制作 第 13 回 ページ構成のアイデア展開 キャンピングの中間講評 第 14 回 ページ構成を含めたプレゼンテーション 第 15 回 講評

[備考] 成績評価法: 課題提出

授業科目名 : 機械工作実習 B
 科目英訳名 : Practical training in machining B
 担当教官 : 渡部 武弘
 単位数 : 1.0 単位
 履修登録コード: T16D, T16E
 開講時限等: 4 年前期金曜 4 限 / 4 年前期金曜 5 限前半
 講義室 : 工電子機械工学科機械工場 (13 号棟 102)

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

学科 コース	入学年度			
	1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
T8:画像 A	実験実習 (F28)	実験実習 (F28)	実験実習 (F28)	選択必修専門 I 類 (F26)
TD:画像 B	実験実習 (F28)	実験実習 (F28)	選択必修専門 I 類 (F26)	選択必修専門 I 類 (F26)

[講義目的] 物作りの基本となる生産技術や加工技術を実際に体験し、種々の工作法を修得すると共に、物を加工する工程を把握し、生産設計や生産計画を行えるエンジニアセンスを育成する。更に、電子工作における基本的考え方を習得すると共に、回路設計を行い、その回路を実際に作製する。

[講義内容] 機械部品には丸物、平面上の物、複雑形状の物等がある。旋盤を用いた丸物の加工、フライス盤による平面加工と平面の精度を更に向上させるための研削仕上げ、複雑形状の加工が可能な放電加工等を体験する。また、機械部品を接合させるための電気溶接とガス溶接も体験する。これらの加工は、NC 装置による自動化の方向にある。そのため、NC プログラミングについても勉強する。電子工作も、貴重な体験になるような環境を整えている。

[履修条件] 人身事故などを予防し安全に作業するために、作業着および靴を着用すること。また、作業中は注意力を集中し、慎重に行動すること。

[備考] 電子機械工学実習と同じ内容で行なう。

授業科目名 : デザイン工学総合プロジェクト
 科目英訳名 : Collaborative Research & Design Projects
 担当教官 : デ工 (意匠系) 各教官
 単位数 : 6.0 単位
 履修登録コード: T0A3
 開講時限等: 3 年後期月曜 3,4 限
 講義室 : 工 1-401 (デザイン実習室)

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF1:デザイン A デザイン	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)		専門必修 (F10)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 多くのデザイン領域にかかわるテーマの中から 1 つを選定し、教官チームの指導のもと、グループによる調査・デザインを行う。それぞれの基盤となる専門性を追求するとともに、異なる専門領域とのコラボレーションによって、より複雑で幅広い研究やデザインに生かしていく方法を習得する。第 7 および第 8 セメスターまで一貫して行い、卒業研究と同等の卒業要件を形成。

[講義内容] 本演習はその時点での社会的問題に関係する課題を、デザインの問題として設定する。1~5: 課題に関する周辺分野の既往研究、状況調査と分析、6~10: 課題解決のためのコンセプトデザイン作成作業、11~15: コンセプトデザインをプロトタイプデザインへ変換する作業とプレゼンテーションを行う。本演習は第 6、7、8 セメスター一貫して進める。そのため、各セメスターでは以上の作業をくり返しながより質の高い解決案に進める。

[履修条件] 課せられる作業内容は高度である。また、チーム作業が主となるため、途中で受講を中止したり、断わりなく欠席することは原則的に許されない。履修登録にあたっては十分考慮すること。

授業科目名 : デザイン工学総合プロジェクト
 科目英訳名 : Collaborative Research & Design Projects
 担当教官 : デ工(意匠系)各教官
 単位数 : 6.0単位
 開講時限等: 4年前期火曜 3,4,5限 / 4年後期月曜 3,4,5限
 履修登録コード: T0A4
 講義室 : 工 1-401(デザイン実習室)

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TF1:デザイン A デザイン	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)		専門必修 (F10)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 多くのデザイン領域にかかわるテーマの中から1つを選定し、教官チームの指導のもと、グループによる調査・デザインを行う。それぞれの基盤となる専門性を追求するとともに、異なる専門領域とのコラボレーションによって、より複雑で幅広い研究やデザインに生かしていく方法を習得する。第7および第8セメスターまで一貫して行い、卒業研究と同等の卒業要件を形成。

[講義内容] 本演習はその時点での社会的問題に関係する課題を、デザインの問題として設定する。1~5: 課題に関する周辺分野の既往研究、状況調査と分析、6~10: 課題解決のためのコンセプトデザイン作成作業、11~15: コンセプトデザインをプロトタイプデザインへ変換する作業とプレゼンテーションを行う。本演習は第6、7、8セメスター一貫して進める。そのため、各セメスターでは以上の作業をくり返しながより質の高い解決案に進める。

[履修条件] 課せられる作業内容は高度である。また、チーム作業が主となるため、途中で受講を中止したり、断わりなく欠席することは原則的に許されない。履修登録にあたっては十分考慮すること。

授業科目名 : 卒業研究(意匠・3年)
 科目英訳名 : Graduation Study
 担当教官 : デ工(意匠系)各教官
 単位数 : 6.0単位
 開講時限等: 3年後期月曜 1,2限
 履修登録コード: T0A5
 講義室 : 各研究室, 工学部

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TF1:デザイン A デザイン	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[講義目的] 学部の各学年において習得したデザインに関する知識、技能を総合する能力を身につけることを目的とする。同時にそれらの能力が充分社会的にも応用でき、かつ、通用する能力かを検討することも卒業研究の目的である。

[講義内容] 3年次後期において、学生は意匠系9教育研究分野の各研究室に配属される。学生は配属された研究室の専門性を基に卒業研究課題を個別に設定する。設定した課題について、研究室の指導教官からゼミ等をとって随時研究指導を受けながら進める。研究成果は論文、論文・制作、制作の三つの形式の内一つを選べる。

[履修条件] 卒業研究は、各教育研究分野に配属を許可されることが条件である。

授業科目名 : 卒業研究 (意匠・4 年)
 科目英訳名 : Graduation Study
 担当教官 : デ工 (意匠系) 各教官
 単位数 : 6.0 単位

開講時限等: 4 年前期火曜 3,4,5 限 / 4 年後期月曜 3,4,5 限

履修登録コード: T0A6

講義室 : 各研究室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度
	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF1:デザイン A デザイン	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)				T1:工業意匠 A	1997 年 専門必修 (F10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)		
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)		

[講義目的] 学部の各学年において習得したデザインに関する知識、技能を総合する能力を身につけることを目的とする。同時にそれらの能力が充分社会的にも応用でき、かつ、通用する能力かを検討することも卒業研究の目的である。

[講義内容] 3 年次後期において、学生は意匠系 9 教育研究分野の各研究室に配属される。学生は配属された研究室の専門性を基に卒業研究課題を個別に設定する。設定した課題について、研究室の指導教官からゼミ等をとって随時研究指導を受けながら進める。研究成果は論文、論文・制作、制作の三つの形式の内一つを選べる。

[履修条件] 卒業研究は、各教育研究分野に配属を許可されることが条件である。